

就労の形態	続けていく上での課題など		解決策など
一般就労	本人	生活能力の維持や低下	本人・企業への定着支援、本人に対するキャリア教育の充実
		働くことに対する内面的（仕事への意欲）な問題	
	支援者関係機関	家族等の高齢・状況の変化による支援力の低下	定着支援員の質・量の確保
		就労者の増加による支援力不足・低下	
共通	ミスマッチの回避	実習における問題点の発見	
	就労継続が困難になった際の対応方法	関係機関の役割分担による支援、医療機関との連携	
就労移行支援			
就労継続支援A型			
就労継続支援B型	本人	利用者さんの高齢化や作業能力の低下	利用者さんの状況に応じて、適切なサービスや作業を提供できる施設を案内
		送迎が必要な方とB型の作業内容とのギャップ	
	支援者関係機関	作業の安定供給	受託による作業の他に独自作業の確保
		利用者に適した作業の提供と経営のバランス	利用者さんのニーズに即したサービス等の提供
	定員割れしている施設もある		
生活介護	本人	生活介護でも働きたい（工賃が欲しい・社会に貢献したい）	就労継続支援B型施設と作業を分担・協働する仕組みが必要
	支援者関係機関	働く（工賃の発生する）生活介護に対するニーズへの対応	就労継続支援B型施設と作業を分担・協働する仕組みが必要 創作的活動以外に独自作業の確保
生活訓練	支援者関係機関	障害特性や個性に応じた細やかなプログラムの実施	プログラムを実行できる専門性・様々な事業等の経験を有する職員の配置や少人数対応ができる職員体制の確保ができる法人による実施（複数の事業所を有する法人や多機能型事業所など）